



台風には勝てません！2週続けての上陸！まるで狙いを定めているかのような発生と進路でした。……。

しかし、この青空！頂上の児童会長：美来さんが、雲に乗れそうです。凜としたみんなの姿に心から感動したシーンでした。

6年生が中心を担い、5年生が補佐し作り上げてきた運動会。高学年への初めての仲間入りでどぎまぎしましたが、本当に頑張った4年生。本来なら5年生か6年生が行うところを4年生が支えています。みんなで声を掛け合い、支え合い、協力して完成させました。最高の技の完成度でした。先生の合図と共にお互いの呼吸を感じ最後の決めポーズを完成させた時、**人を思いやる心**が、みんなの心の中に響き渡ったことだと思います。学校が正に目指している姿です。

将来、想像もつかない世の中が訪れると言われています。私は、そのような世が来ても、堂々と生き抜くには人間としてのこの基礎力（人間力）が非常に大切であると思っています。子どもたちの心の中に入ったこの感覚は、将来の

いずれかで**化学反応を起こしてくれる**と信じています。

6年生の日記・作文から(子どもたちが書いたもの、そのままです)

「感動のラスト運動会」 6年 植村 美来

今日は、まちにまちまかった運動会です。朝の7時に起きてワクワクしていました。学校についてさっそく、開会式が始まりました。私は、児童代表のあいさつや、トロフィーへんかん、選手宣誓などでたくさんださしていただきました。

ようやく、午前の部ラストの組体操になりました。私は組体操の放送をした後、ダッシュでならびに行きました。音楽がながれはじめて演技が始まりました。私は、お客さん達を感動させたいと思ういっしんで演技をしました。今までたくさん練習したからだいじょうぶと、自分に言い聞かせました。そして、最後の演技、タワーをします。笛の合図で、どんどんタワーが出来あがっていきます。私は、みんなの背中をかりて一番上まで登りました。一度、息を整えてゆっくり立ちました。私は、その時の景色が忘れられません。

いっしゅん、気がゆるんだことに気づきました。しっかり前を見ました。すべての演技がおわると大きなはくしゅをしてもらいました。逆にこっちが感動しちゃいました。先生も泣いていたと後から知りました。

今年のラスト運動会は、くいなく終わりました。

「感動のしゅんかん」 6年 玉置 真帆

今日は、運動会です。延期になっていたのも、とてもうれしかったです。練習している時は、赤組に負けてしまうんじゃないかと思いました。ここで、感動したことを二つ書きます。

一つ目は、組体操です。今まで上手くいかなかった所や、失敗した所があったので、少し不安でした。そんな不安の中、入場しました。まず、肩車とサボテンをしました。成功しました。次に、一人技も成功して不安な倒立をしました。私も成功したし、相手のあずささんも成功しました。とってもうれしかったです。その後もなんとか成功して、いよいよタワーになりました。私の上には、ゆらさんが乗っていたので動かないように足をふんばっていました。そして、美来ちゃんも乗って笛がなり

ました。顔を上げてバランスをとりました。そしたら、周りからたくさんの拍手の音が聞こえてきました。そして、みんなで一列になってジャンプして退場しました。最初はとても不安だったけどそれが最後には、感動に変わりました。とてもうれしかったです。

二つ目は、最後の色別リレーです。今まで赤組に負けていたので、絶対に勝ちたいと思っていました。でも、作戦を立てて順番を変えてから練習できていませんでした。でも、1年生から走って、白組には負けていたけど赤組とは大差で勝っていました。そして、赤組と差を縮められて私の前の真君に回ってきました。あと少しで追い抜かされそうになった時、私の番がやってきました。真けんに走っていたのでゴールした時、誰が横にいるかわかりませんでした。写真判定で青組が一位と放送で言った時、とてもうれしかったです。赤組に勝って本当に良かったです。そして、閉会式の成績発表の時、ドキドキしていました。

「今年度の優勝は、青組です。」
と言った時、とてもうれしかったです。トロフィーは少し重かったです。この時が一番感動したしゅん間でした。

「初めての運動会」 6年 中間 真
タイヤひっぱりをがんばりました。手が痛かったです。
徒競走も、がんばりました。三番でした。
ぬかされないように、しんけん走りました。
「よかったなあ。」
お母さんが、言ってくれました。

漢字も書けるようになってきました。



「感動の瞬間」 6年 東 稜瑛
ぼくは、ジャンプアップがとても感動しました。ジャンプアップは午後の部の一番初めでした。ぼくはあやとびが失敗ないように、始まる前に練習しました。入退場門に並ぶと、とてもきんちょうしてきました。ぼくは笑顔で楽しむところを大切にしました。
入場してから低学年の発表でした。みんな真けんに演技をしていたので、「ぼくも負けられないな。」と思いました。低学年の演技が終わって立った時とてもドキドキしてきました。そして、始めました。「YMCA」と曲が流れたとききんちょうがほぐれ、選手宣誓の言葉を思い出しました。それは、「日ごろの練習の成果を十分に発揮し」のところです。そのとき、「そうだ練習してきたところをしたらいいんだ。」と思いました。そして、ノーミスであやとびのところまでいきました。また、きんちょうしはじめました。あやとびのところはすぐ終わりました。でも、安心できません。もう一度あやとびがあるからです。ですがそこも難なくクリアできました。練習の時はあんまりできていなかったけどノーミスでできたので良かったです。一番疲れたのは、A、B、Cで分かれた時の技です。それに終わった後に大きな声で「Y、M、C、A」と言うところでもっとしんどくなりました。「Y、M、C、A」と言うところでもとても心を込めて大きな声で言いました。ペア技は練習でできていたけどミスってしまったので少し悔いが残りました。最後は、「ヤー。」
と言って終わりました。

次は、全校縄跳びです。ぼくは、声出しをしたのでプレッシャーが少しありました。観客の声えんでやる気が出てきました。みんな集中していました。そして、「せーの。」
と言ってとびました。二回目か三回目の三回が一番多かったです。そして、五回目が終わったので終わりだと思いました。すると、みなさんからアンコールをいただきました。ぼくたちは愛されているんだなあと思いました。でも、五回とべませんでした。期待にこたえられなかったのが悔しいです。これからもみんなと力を合わせ、これからの生活を過ごしていきたいです。